

# 西日本土木株式会社 高田本社



施設概要		建物用途		建物仕様		空調	
新築/改修	新築	建物用途	事務所等	屋根	現場発泡ウレタンフォームA種100mm	空調	パッケージエアコン/全熱交換器
所在地	大分県	建築面積	524㎡	外壁	現場発泡ウレタンフォームA種50mm	換気	DCファン
地域区分	6地域	延べ面積	1,020㎡	土間下	押出法ポリスチレンフォーム3種30mm	照明	LED照明器具
竣工年月	2023年1月	構造	鉄筋コンクリート造	窓	アルミサッシ	給湯	ヒートポンプ給湯機
発注者	NNホールディングス(株)	階数	地上2階		Low-E複層ガラス (Ar6)	昇降機	VVVF制御 (回生なし)
設計者	(株)大有設計	ZEBランク	『ZEB』	遮蔽	ブラインド/ルーバー/庇	創エネ	太陽光発電
施工者	西日本土木(株)			遮熱	—	その他	—

## 設計コンセプト

オフィスビル建替計画。コンセプトは「ふれあい」。創業80年を迎えるに当たり、環境に優しく街にひらかれたオフィスビルを目指し、新しいスタイルのオフィスビルを探究。オープンランドスケープが街の余白となり、ふれあいが生まれ、安心となり愛着に育つ。居心地が良い建築は、温度湿度など体感的な要因と広さ高さなどの空間的な要因があります。西日本土木高田本社ビルは両方の実現を目指したプロジェクトです。『ZEB』認証を取得しつつも、明るく開放的なオフィスビルとしました。天井を高くしカーテンウォールで開放感のある執務室の一角にはあえて天井の低い場所をつくり、秘密の雑談をしやすい雰囲気をつくりました。エントランスは吹き抜けとし、天窗からは非均一な光粒のシャワーが降り注ぐ。吹き抜けに面した2階廊下にはアールコブを設け、雑談用カウンターを設えました。これまでのオフィスは効率的に労働をすることが主眼に置かれ計画されてきましたが、これからのオフィス空間に求められる役割は、従来の「効率的生産作業の場」から「知的生産性向上の為の交流の場」と変化していくと考えました。オフィス空間は新しい発想を生み出すために「ふれあい」を発生させる装置であると再定義した計画です。

## グリーン化の取り組み

- ・空調設備にパッケージ型空気調和機を採用し、全熱交換器を導入することで外気負荷を低減。
- ・換気設備に高効率換気扇、給湯設備に高効率給湯器を採用。
- ・照明設備に人感センサー、明るさ検知、タイムスケジュール制御を採用。
- ・BEMS装置を導入し、エネルギー計測を実施。

